



Lebidia bioculata Morawitz.

日本甲虫学会 Coleopterological Society of Japan

HP: <https://coleoptera.sakura.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/coleopterology>

Twitter 日本語アカウント: <https://twitter.com/kochugakkai>

英語アカウント: https://twitter.com/Coleopt_Soc_Jpn

会員限定ページ: <https://coleoptera.sakura.ne.jp/members-only.html>

(ユーザー名:、パスワードはさやばね和文誌さやばね 48 号(2022 年 12 月 25 日発行)およびニュースレターのメール配信版 54~63 号に掲載しています。

【会長挨拶】

フィールドでの事故にご注意を！ 投票のお願い

久保田耕平

梅雨の鬱陶しい天気が続きますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？来る 7 月 6-7 日には、昨年に引き続き、宮崎県の綾ユネスコエコパークで当学会の調査観察例会が開催されます。昨年は仕事の都合で参加できなかった私も今年は参加予定で、毎日天気予報をチェックしながら楽しみに待っております。

フィールドでの事故にご注意を！

さて、3 月には洞窟採集での事故に関連した注意を呼びかけさせていただきましたが、実は私自身が今年の 12 月にフィールド調査で、膝を骨折してしまいました。現場は緩い斜面の森林で、特に危険というわけでもありませんでしたが、撤収間際に背負った荷物がやや重く、注意力が散漫になっていたのでしょうか。足を滑らせてバランスを崩し、左膝を岩にぶつけてしまいました。入院・手術を経て、今も長いリハビリの最中ですが、5 月あたりからピットフォールトラップや新芽採集のような、走り回らない採集はどうかできるようになりました。これまで年がら年中出歩いてばかりの生活の中でもケガらしいケガはしたことはなかったのですが、改めてフィールドでの活動は、常に危険と隣り合わせであり、油断は禁物だということを思い知らされました。

また、最近各地でクマの出没情報や人への危害のニュースが聞かれるようになりました。私自身の経験でも十数年前あたりからクマを目撃する確率が高くなりつつあるように感じます。自分が事故の当事者になる可能性は低いかもしれませんが、クマ鈴の携行や事故のあった地点周辺を避ける等でさらに危険を回避できると思われれます。私も昨年秋から、クマの密度が高いエリアに入る時にはクマスプレーを携行するようになりました。

会員の皆様も、フィールドでの安全にご注意いただき、ぜひ楽しい夏をお過ごしください。

投票のお願い

今年度は2年に一度の役員選挙が実施され、8月に告示、9月に開票の予定となっております。最近は投票率が40%前後とそれほど高くありません。選挙権は会員の権利であり、数少ない学会運営への意思表示の機会ですので、ぜひとも投票をお願いいたします。

巳（み）年の甲虫を募集

甲虫学会ウェブサイトやニュースレターのアイコンは、その年の干支にちなんでいます。今年は辰（たつ）年でフタツメアトキリゴミムシです。

来年は巳（み）年です。ミの付く甲虫はたくさんありますが、できればイラストとともに提供いただけますと幸いです。下記は一部例です。

ミイデラゴミムシ	<i>Pheropsophus (Stenaptinus) jessoensis</i> Morawitz, 1862
ミイロオチバメダカハネカクシ	<i>Stenus inclarescens</i> Puthz, 1993
ミイロケシデオキノコムシ	<i>Scaphisoma tricolor</i> Heller, 1917
ミイロササラゾウムシ	<i>Demimaea tricolor</i> (Roelofs, 1875)
ミイロトラカミキリ	<i>Xylotrechus (Xylotrechus) takakuwai</i> Kusama, 1977
ミイロムネビロオオキノコ	<i>Microsternus tricolor</i> Lewis, 1887
ミウラメクラチビゴミムシ	<i>Trechiana (Trechiana) terraenovae</i> S. Uéno, 1988
ミエアバタコバネハネカクシ	<i>Nazeris hayashii</i> Ito, 1999
ミエクビアカジョウカイ	<i>Lycocerus watanabei</i> (Ishida & M. Satô, 1993)
ミエコジョウカイ	<i>Lycocerus miekoeae</i> (Takakura, 1987)
ミエチャマルチビヒョウタンゴミムシ	<i>Reicheiodes (Reichonippodes) yozekii</i> Morita, 2015
ミカゲゴモクムシ	<i>Harpalus (Pseudoophonus) roninus</i> Bates, 1873
ミカゲツツキノコムシ	<i>Cis mikagensis</i> Nobuchi and Wada, 1955
ミカドオトゲアリヅカムシ	<i>Lasinus mikado</i> Bekchiev, Hlaváč & Nomura, 2013
ミカドクイムシ	<i>Scolytoplatypus mikado</i> Blandford, 1893
ミカドクビブトメダカハネカクシ	<i>Stenus mikado</i> Hromádka, 1979
ミカドスジツヤチビハネカクシ	<i>Edaphus mikado</i> Puthz, 2014
.....	

日本甲虫学会 ニュースレター 第64号

2024年6月30日発行 ※本ニュースレターは主にHPの更新履歴に基づき、プレーンテキストにて不定期でメール配信しています。以後の配信停止ご希望の方はご連絡ください。過去の更新履歴も、PDFでご覧いただけます。

<https://coleoptera.sakura.ne.jp/newsletter/newsletter.html>

web担当委員：蓑島 実務担当：初宿 webmaster@coleoptera.sakura.ne.jp